

ぬくもり

第41号

発行 橋本地区社会福祉協議会
会長 森 誠 壽
事務局 緑区合同庁舎社会福祉協議会内
TEL 042-775-8601

橋本地区社会福祉協議会だより

人口 74,166 (+295) 世帯数 36,631 (+737) 自治会数 30 (令和4年11月1日現在)

誰もが社会参加できる地域をめざして

—緑区合同庁舎2階は橋本地区住民の皆様との“ふれあい拠点”—

橋本地区社会福祉協議会

地区社協を構成する主体は、あくまで橋本地区で暮らす地域住民である皆様方です。それに社会福祉や関連分野の関係者、NPO、さらに地域社会を形成する他のさまざまな専門家・団体・機関によって構成されています。

おもな活動内容は下記のとおりです。

相模原市緑区を所管する緑区合同庁舎には、さまざまな窓口が設けられています。2階には、各種届け出や証明などおなじみの区民課のほか、社会福祉関連の部署が配置されています。その中に橋本地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）があり、地区住民の皆様と深くかわりあっています。

今号では地区社協・緑ボランティアセンターをはじめ、合同庁舎2階に配置された福祉関連部署を改めてご紹介し、より良い社会福祉の推進に、地区住民の一人として、また支援者としてお役立ていただきたく本稿を掲載しました。

緑ボランティアセンター

ボランティア活動に関する相談、具体的な案件対応にも応じます。

その他の事業

広報紙「ぬくもり」の発行、民生児童委員の高齢者見守り活動の支援、長寿祝い記念事業、七夕まつり招待事業ほか

〇「子育てサロン」の支援・助成

未就学児の親子の交流の場、現在3会場です。友達づくりや情報交換、息抜きをかねて気軽に参加できます。

〇「ふれあい・いきいきサロン」の支援・助成

住民がつくる地域交流の場、現在13会場で開催されています。高齢者・シニア世代が気軽に集い、スタッフとともにつくる「たまり場」のような存在です。

〇「ふれあいの家・ぬくもり」

（元橋本町1-27「香福寺」信号に隣接）で行う各種行事
いきいき百歳体操、ぬくもり子育てサロン、ぬくもりよろず相談、麻雀、喫茶、将棋、映画、手芸・折紙



社会福祉協議会窓口

その他の関係部署

相模原市社会福祉協議会緑区事務所・緑障害者相談支援センター（シモン）

※時節柄、行事開催の有無、日程その他詳細は、橋本地区社協（電話 042-775-8601）へお問い合わせ、確認ください。ご利用をお待ちしています。

あじさい会館分室

2階には高齢者交流室・高齢者談話室・情報交換ルーム・ボランティア活動室が設けられ、福祉関連団体・グループへの貸し出しも可能です。

橋本地区社協 活動報告 令和4年度

橋本地区社協事業

5月 《総会》⇒ 書面表決

6月 《理事会》

7月 《一般賛助会員募集》
自治会にご協力いただいています。
（実績額 2,048,150円 11月30日時点）

《活動育成費の交付》

8月 《七夕まつり招待激励事業》
⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
※ 令和元年度竹飾り

9月 《ふれあい招待事業》
⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

10月 《米寿祝い記念事業》
88歳の米寿をお祝いし記念品と寿詞
賞状をお届けしました。（258名）

10月 《街頭募金》
自治会、民児協等にご協力いただいています。
（募金額 124,787円 10月1日時点）



《赤い羽根共同募金》
自治会にご協力いただいています。
（募金額 1,661,969円 11月30日時点）

《福祉募金》
民児協にご協力いただいています。
（募金額 564,412円 11月30日時点）

11月 《理事視察研修》
《年末たすけあい募金》
自治会にご協力いただいています。
（募金額 616,740円 11月30日時点）

令和5年
1月 《機関紙「ぬくもり41号」発行》
2月 《福祉講座》

《寄付》
〇株式会社 永田屋
〇二本松にっこにっこサロン
〇橋本四丁目団地自治会
〇森 誠壽
〇愛の一本塔（募金塔）
橋本三丁目新町自治会
（カラオケ館前一塔）
橋本地区社協
（日協同病院前一塔）

《寄贈》
〇イオン橋本店
〇サ・ビッグ相模原二本松店
黄色いシートキャンペーン
ギフトカード

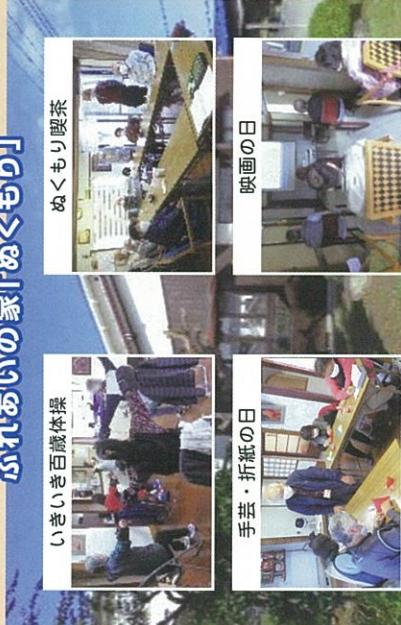
あたたかい心を
ありがとうございます

〇編集後記
中国の思想家、荀子の言葉に
「着眼大眼着手小同」があります。
眼の着けようは広く、実践は
小さなところから手をつける、と
いった意味でしょうか。
福祉活動もまた然り、様々な困
りごとを広く観て、一つ、一つ、
対処します。
そんな眼と手を持ちたいと思っ
ます。

福祉の日イベント形成事業

地域住民の福祉活動拠点「ぬくもり」では、「ぬくもり喫茶」「映画の日」「手芸・折紙の日」「いきいき百歳体操」などを開催しています。（令和4年11月時点）

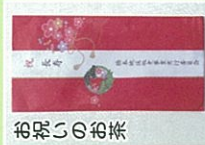
ふれあいの家「ぬくもり」



橋本地区敬老事業

多年にわたり地域社会の発展に寄与された高齢者の「長寿をお祝いし、感謝し、その労をねぎらう」ため、敬老事業を実施しています。

◆祝品の配付（10月）
80歳以上（令和4年4月1日時点）の方へ
民生児童委員がお祝いのお茶をお届けしました。（対象者4,495名）



お祝いのお茶

◆地域貢献活動支援者表彰（11月）
児童の見守りや清掃活動など、地域への貢献活動を永年続け、こられた方々に感謝状を贈呈しました。（対象者2名）



表彰式記念写真

《橋本地区敬老事業構成団体》
・橋本地区社会福祉協議会
・橋本地区自治会連合会
・橋本地区民生児童委員連合会
・橋本地区老人クラブ連合会

橋本の子育て情報

地区社協の子育て支援

橋本地区では子育て中の親子の交流の場「子育てサロン」が開催されています。

子育てサロンは、地域のボランティアによる子育て支援の場です。子育て真っ最中の保護者の方にお子様と共に集まってもらい、子育て中の悩み、あそび方等をお互いに話し合ったり、経験豊かなボランティアの方からアドバイスを受けたりしています。

コロナ禍でサロンがお休みの所もありますが、橋本公民館を会場とする「わんぱく広場」は感染症対策を行って開催しています。(令和4年11月現在)取材した10月28日は4組の親子が参加していました。赤ちゃんがおもちゃで遊んだり、もちもち歩きをするのをボランティアの皆さんが温かく見守る間に、保護者同士で子供服や保育園の情報交換をしたり、子どもたちが楽しそうに遊ぶのを見ながらおしゃべりを楽しんだりしていました。



広い和室でのびのび

参加された保護者の方にお話を伺うと、「わんぱく広場」のことは、会場のイオン橋本店の工しゅター内に貼ってある、サロンの開催日カレンダーで知ったところとです。「もともと多くの親子の皆さんに知ってほしいね」という声が聞かれました。スタッフの方からも「参加者のお母さん方から、コロナで出かける所がなくなりました。のびのび出来そうです。ぜひ遊びに来てほしい」とのことでした。「わんぱく広場」は、毎月第4金曜日の午前10時から11時45分まで橋本公民館和室にて開催しています。お気軽にご参加ください。

橋本地区社協は子育てサロンの応援をしています。各子育てサロンの情報は橋本地区社協ホームページに掲載しています。



橋本地区社協ホームページ

また、市社会福祉協議会のブログやインスタグラムで、サロンの様子を紹介することもあります。開催日については感染状況により中止することもありますのでお気軽に地区社協まで電話でも問い合わせください。

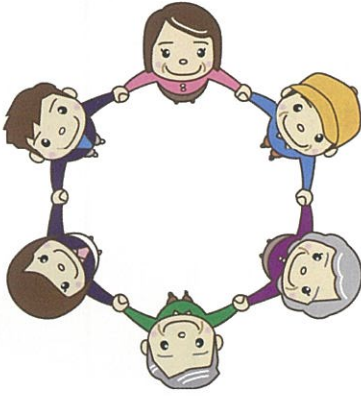
橋本地区社会福祉協議会
電話 042-775-8601

地域づくり部会

暮らしやすさ街づくりを目指して

「年齢を重ねても、住み慣れたまちで自分らしく暮らしたい…」橋本がそんな願いが叶うまちになることを目指して、「地域づくり部会」では、橋本地区の課題や必要な取り組みを話し合っています。メンバーは自治会、民生児童委員、老人クラブ、地区社協の代表で、運営は橋本と相原の地域包括支援センターと市社協が担っています。

会議の中で、認知症や精神疾患と言った症状に加えて家計や住居の問題など複合的な多くの問題を家族それぞれが抱え、お困りになっているお声がある状況を把握し、地域の実態を調査するために、自治会代表と民生児童委員にアンケートを行いました。回答では「認知症の方の〇〇〇〇出しについて相談を受けた」、「家族が安心して話せるところがあるといい」、「様々な意見を頂いた他、「精神疾患のある方への接し方や見守り方に



について知りたい」という意見が多い。令和5年に精神疾患についての市民講座を開催することになりました。

「小さな困りごとが大きな問題にならないように、地域で見守り、支えられたらいいですね。講座が地域で見守りのすそ野が広がる

きっかけになるよう、多くの方に参加していただきたいです。」と部会長の地区社協会長の森さん。講座の日程等は後日地域情報紙等でお知らせします。ご自分にも参加いただい

ますのでぜひご参加ください。
事務局 市社会福祉協議会
橋本地区担当 坂口・奥田
電話 042-775-8601



白熱した議論

あの町 この町

はしもと

「今年こそは…」の活動再開

長らく低調気味だった地元の福祉活動が、やっと復興の兆しを見やってきました。ただ、三年目となるコロナ自粛イベントは、そう簡単には回復しないようです。活動への参加者、企画・運営を担当する人、活動に係る人々の王や王や感が完全に消失するには、あと少し時間がかかりそうです。

いちばんのポイントが、集いの場の復活です。自粛イベントの中で、これまで「人との出会い」が大いに制限されてきました。交流の場の復活は、人が人として生活していくうえで欠かせない要素です。久しぶりのサロンに参加して、「久しぶりじ、みんなに会えてうれしい」のひと言は何物にも代えがたしいと思えます。

サロン、カフェ、教室をはじめとする各種行事はもとより、ボランティア活動も同じです。この先、地元の皆さんからの積極的な働きかけを期待したいと思います。本格的な活動再開が期待できる今年、

ともに「福祉のまち橋本」を築いていきたいと思います。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

みやかみ

宮上無科学習室の歩み

当時の児童館運営委員長から、「児童館長への推薦状を支援課に送ったよ」と突然伝えられました。

そこで、民生児童委員、児童館、青少年健全育成委員も加わり、育成の方針に従い、地域の大人たちとともに、子どもたちの「輝きながらの成長」を児童館に見守ることにしました。

コロナ禍が始まってからは慎重に、たが、「学習室のことで相談したら」と、民生児童委員の方から願ってもない電話が入りました。その方とは職場が近く、会った時に立ち話などで情報を交換しあうことになりました。

しばらくはそれぞれ別行動をとり、私は支援課に、民生児童委員の方は小学校を回りました。そして定期的に開催される館長会議を迎えました。ひと通り議題が終わり、フットワークとなりました。支援課長を中心に担当職員が並び、児童館長たちも同席している会議の場で、立案した学習室の計画を説明しました。

拒絶はしなかったと承知していただき、「長く続けられるものにしてほしい」とのことでした。何人かの館長さんは、興味を持って質問をしてくださいました。宮上児童館の学習室は、毎週火曜日・金曜日の午後5時15分から6時30分まで今でも続いています。

当初、父母たちへの説明会には何名か参加、児童の送り迎えなどもお願いしました。出・入館については、都度連絡は不要となりました。10月1日名程度の出席から始まり、多し時には30名を超えることもあり、火曜日・金曜日に分けて週二回開催する時期もありました。

子どもたちもよく頑張っています。これから長く続けることを願っています。

あしはら

コロナ禍でもつながって

楽しく体力づくり

コロナ禍で友達と会う機会が減ったり、出かけることが減り運動不足になってしまった方も

相原地区では、地域住民の方を中心に、この大体操等を定期的に開催しています。10月に新たな「近所体操」が誕生しましたので紹介しま

す。場所は相原4丁目にある高柳若グループホーム「あしはらグループホームそと風」の駐車場です。近隣のグループホーム入居者の大勢が一斉に体操を始めて大気になり、また体操のために集まることでつながりが生まれ、グループの協力でスタートしました。10月2日に第一回を開催され、近隣の大人入居者の大勢がこの大体操や、ホーム職員による口腔体操をして気持ちよく体を動かしました。毎週第4日曜日の午前10時30分から体操します。近所の方はぜひのびのびしてください。予約・申込は不要です。

また、近所に「近所体操」があるを知りたい、体操に参加したい方は、お気軽に問い合わせ。

連絡先 相原地域包括支援センター
電話 042-703-5088



体操の前後のおしゃべりも、お楽しみのひとつ